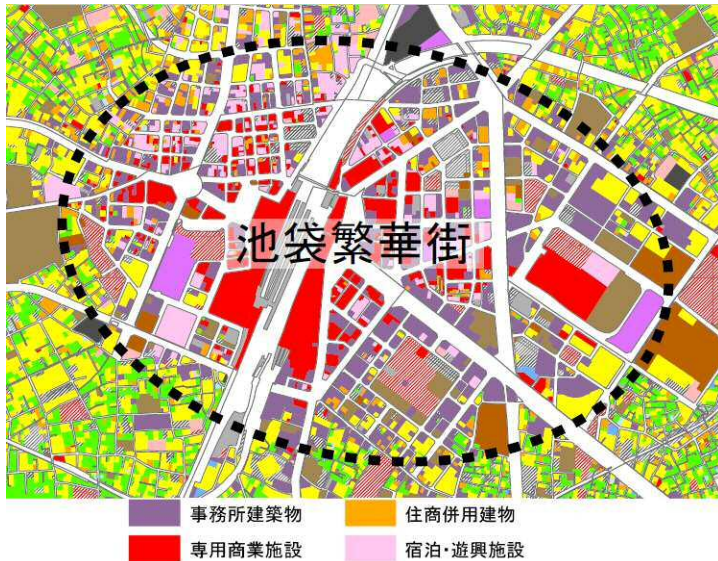


令和2年7月期区長記者会見 次第

日 時：令和2年7月20日（月）
14時00分～
場 所：豊島区本庁舎8階
議員協議会室

- 1 区長発言
- 2 「豊島区方式」による感染拡大防止対策について
- 3 「SDGs 未来都市」および「自治体 SDGs モデル事業」への選定について

池袋繁華街の安全・安心を守る二つのローラー作戦を展開!!



- 接待を伴う飲食店等にピンポイントで実施している「豊島区方式」による対策と並行して、感染防止に関する機運醸成の取り組みを、商業施設、ホテル、オフィス、交通施設など、繁華街エリア全体に広げる。
- 二つのローラー作戦を地域ぐるみで展開することで、繁華街の安全・安心を区民・来街者等に強力にアピールするとともに、感染防止を徹底する。



ミッション 1 街中 ポスター展開

7月28日の大会に向けて!

エリア全体に呼びかけ、「感染防止ポスター」を街中に露出させる。
(駅構内、百貨店、主要ビル・店舗施設、公共施設、街路灯・樹、案内板・サインージ等)

- ➡ 来街者に明確なメッセージを伝え、池袋の意気込みをアピールする。
- ➡ エリア内店舗等の感染防止意識を高め、「ミッション2」につなげる。

ミッション 2 店舗 ステッカー展開

8月末を目標として展開!

エリア内の店舗に「感染防止ステッカー」を広げ、徹底する。

- ➡ 店舗内へのステッカー掲示を推進し、感染防止ルールを周知・徹底する。
- ➡ 「ステッカー」の掲示にあたっては、ルールの徹底や感染発生時における保健所への連絡、調査協力に関する確認書を徴取する。

「豊島区方式」による感染拡大防止対策について

1 経緯・趣旨

新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言が5月25日に解除されたが、現在、都内の新型コロナウイルス新規感染者数は連日200名を超えており、そのうち「接待を伴う飲食店」等、いわゆる夜の街に関連する感染者が多くを占めている状況である。

特に、他区の繁華街ではホストクラブを中心としたクラスターが多数発生しており、当区においても、都内有数の繁華街である池袋地区において、6月下旬以降、感染者の増加が見られる。

このため、豊島区では、接待を伴う飲食店等を含む区内事業者、地域団体、関係団体、東京都等と連携し、スピード感を持って感染拡大防止対策を推進していくこととする。

2. 区内ホストクラブへのPCR検査について

(1) PCR検査の受診勧奨

- ・接待を伴う飲食店等のうち、大規模なクラスターが発生したホストクラブを対象とし、感染者が発生していない店舗も含めた全従業員（9店舗・100人程度）に対して、PCR検査の受診を勧奨
- ・7月9日（木）～15日（水）池袋保健所及び医療機関委託により実施
（クラスターが発生した店舗については、当該期間前に実施済み）

(2) 休業協力金の支給

- ・当検査に伴い、クラスターが発生したと判明した店舗に対し、当区が休業の協力を依頼
- ・それに従い、一定期間休業を行った店舗に対し、1店舗当たり50万円の休業協力金を支給

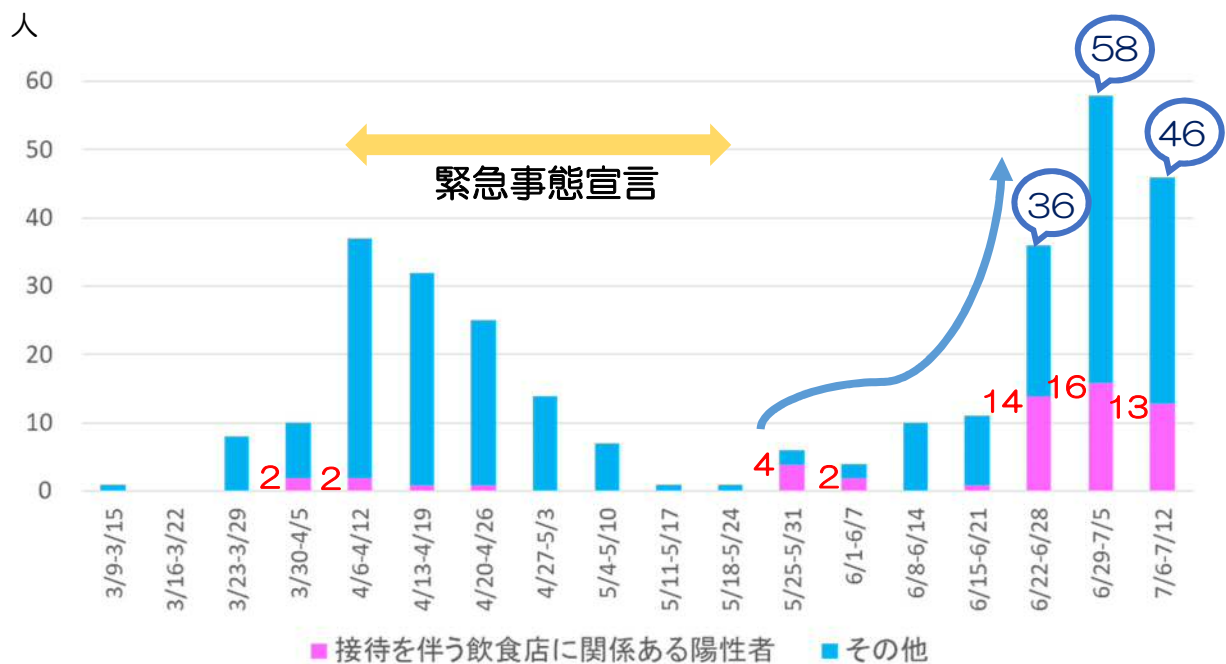
(3) 検査の結果

既にクラスターが発生した店舗及び自主的検査を済ませた店舗を除き、今回、検査を行った店舗の従業員全員が「陰性」だったため、休業の協力依頼は行っていない。

3. 感染拡大防止対策の取り組み

- (1) 豊島区感染拡大防止対策推進登録制度「ななま〜る」7つの宣言
店舗等において「ななま〜る」7つの宣言に沿った感染拡大防止の取組を実施することを呼び掛け（PCR検査の無料受診の条件とする。）
- (2) 区民への呼びかけ
自ら感染しないため／自ら感染拡大させないための対策を、ホームページ等を通じて改めて発信

新型コロナウイルス感染症届出数（豊島区民のみ）





豊島区 感染拡大防止対策
推進登録制度ステッカー

感染防止徹底宣言



東京都 感染防止
徹底宣言ステッカー

東京都と
連携した
豊島区方式

感染を
出さない！
広げない！
抑えこむ！

STOP!!
コロナ!!

池袋繁華街は
皆さんの安全・安心を守ります！
コロナ対策を徹底し

- 感染拡大防止対策ルールの徹底
- 業種ピンポイントでPCR検査
- 感染の早期発見と拡大未然防止
- クラスタ発生休業要請と協力金
- 安全確保店認定ステッカーの掲示

◆皆様のご協力をお願いします



豊島区、池袋警察署、池袋西口駅前環境浄化推進委員会、東京都池袋西地区環境浄化推進委員会、池袋東地区環境浄化推進委員会

＼7つの〇(まる)で安全・安心をPR！／

豊島区感染拡大防止対策推進登録制度が始まりました

豊島区は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行っている施設、小売店、飲食店及び各種イベント団体などを豊島区感染拡大防止対策推進事業者として登録する制度を7月1日から始めました。

申請により登録された事業者には区から登録ステッカー(画像データ)を提供します。店頭に掲げたり、チラシ・ポスターなどに掲載したりして安全・安心な店舗・イベントであることのPRに役立ててください！

■「ななま〜る」7つの宣言

感染拡大防止の取り組みを7つに宣言にまとめました。

- 暑くても、寒くても換気を第一に！
- お店(職場)内の混雑を回避する工夫をします！
- ソーシャルディスタンスを確保。感染リスクが無いように！
- どんな時もマスクの着用と手洗いを忘れずに！
- 施設・会場内は常にすみずみまで消毒・清掃します！
- スタッフの体調管理は厳しくチェックします！
- 何かあれば池袋保健所に！

登録された事業者は
区の広報メディアを
通じてPRします！

■認証ステッカー



▲店頭などに貼って安全・安心なお店であることのPRに役立ててください。



ステッカーのほかに、チラシやポスターに掲載することができるよう画像データも用意しています。

■申請方法

申請書・チェックリストの記入と感染症対策の取り組み内容が分かる写真を文化観光課に提出をお願いします。詳細は区ホームページでご案内していますので、確認してください。

提出するもの…□申請書 □チェックリスト(施設、小売店、飲食店用・イベント用) □写真データ



←詳細はこちら

問い合わせ先 文化観光課観光交流グループ
電話 03-3981-1316



7つの宣言チェックリスト(施設、小売店、飲食店用)



確認事項	チェック
▶宣言1 暑くても、寒くても 換気 を第一に！	<input type="checkbox"/>
▶宣言2 お店（職場）内の 混雑を回避 する工夫をします！	<input type="checkbox"/>
▶宣言3 どんな時でも マスクの着用と手洗い を忘れずに！	<input type="checkbox"/>
▶宣言4 施設・会場内は常に すみずみまで消毒・清掃 します！	<input type="checkbox"/>
▶宣言5 スタッフの体調管理 は厳しくチェックします！	<input type="checkbox"/>
▶宣言6 その他、お客様や利用者に対して 感染拡大防止 の工夫をします！	<input type="checkbox"/>
▶宣言7 何かあれば 池袋保健所 に！	<input type="checkbox"/>
上記の宣言を守り、 自ら感染しない、感染させない 取組みを徹底します。	
(店名)	
署名 _____	

<p>事業名</p>	<p>「SDGs 未来都市」への選定と、「自治体 SDGs モデル事業」の推進</p>
<p>セールスポイント</p>	<p>SDGs の優れた取組を行う自治体として「SDGs 未来都市」と「自治体 SDGs モデル事業」に、東京都初のダブル選定 持続発展する「国際アート・カルチャー都市」の実現に向け、区を挙げて SDGs を推進</p>
<p>事業費</p>	<p>42,000千円</p>

事業の内容

1. 東京都初となる、「SDGs 未来都市」と「自治体 SDGs モデル事業」のダブル選定

- ・持続可能なまちづくりのため、SDGs の達成へ向け優れた取組を行う自治体として、「SDGs 未来都市」に選定されました。その中で、特に先導的な取組として「自治体 SDGs モデル事業」にも選定されました。
- ・ダブル選定は、東京都初となります。

2. 消滅可能性都市を脱却し、SDGs を通して「国際アート・カルチャー都市」の実現へ

- ・消滅可能性都市の指摘後、ピンチをチャンスに変えるべく進めてきた、持続発展する「国際アート・カルチャー都市」実現への取組は、「SDGs の達成」と方向性が一致します。
- ・本区が強みとする「公民連携“オールとしま”」や「東アジア文化都市のレガシー」をフル活用し、SDGs を通して、「“まち全体が舞台の誰もが主役になれる”国際アート・カルチャー都市」を実現していきます。

3. 「自治体 SDGs モデル事業」の概要

- ・SDGs を達成するため、経済・社会・環境の各施策を進めるとともに、3つの面を繋ぐ取組を進めます。
- ・その中心となる取組が「公園を核にしたまちづくり」。「池袋駅周辺4公園を核にしたまちづくり」と、「暮らしの中にある小さな公園の活用」の2つの取組を進めます。
- ・前者の取組は大都市や高密度都市のモデルへ、後者は地方都市を含めたすべての都市のモデルとなることを目指します。そして、これらの取組を通して、様々な主体との公民連携に波及させていきます。



①池袋駅周辺4公園を核にしたまちづくり



②暮らしの中にある小さな公園の活用



<p>今後の見通し</p>	<p>SDGs の国内モデル自治体として、SDGs の達成と国際アート・カルチャー都市の実現を目指していく。</p>
----------------------	--

<p>問合せ先</p>	<p>豊島区 SDGs 未来都市調整担当課長 山野邊 080-9864-0602</p>
--------------------	--

SDGsを通して「国際アート・カルチャー都市」の実現へ

～誰をも受け入れ、誰からも受け入れられ、
持続して発展する豊島区の構築～



SDGs（持続可能な開発目標）

SDGsとは

- SDGsは、2015年9月の国連サミットで採択された、2030年を年限とする、17の国際目標。
- 地球上の誰一人取り残さない社会の実現を目指し、経済・社会・環境の諸課題を統合的に解決しようとするもの。

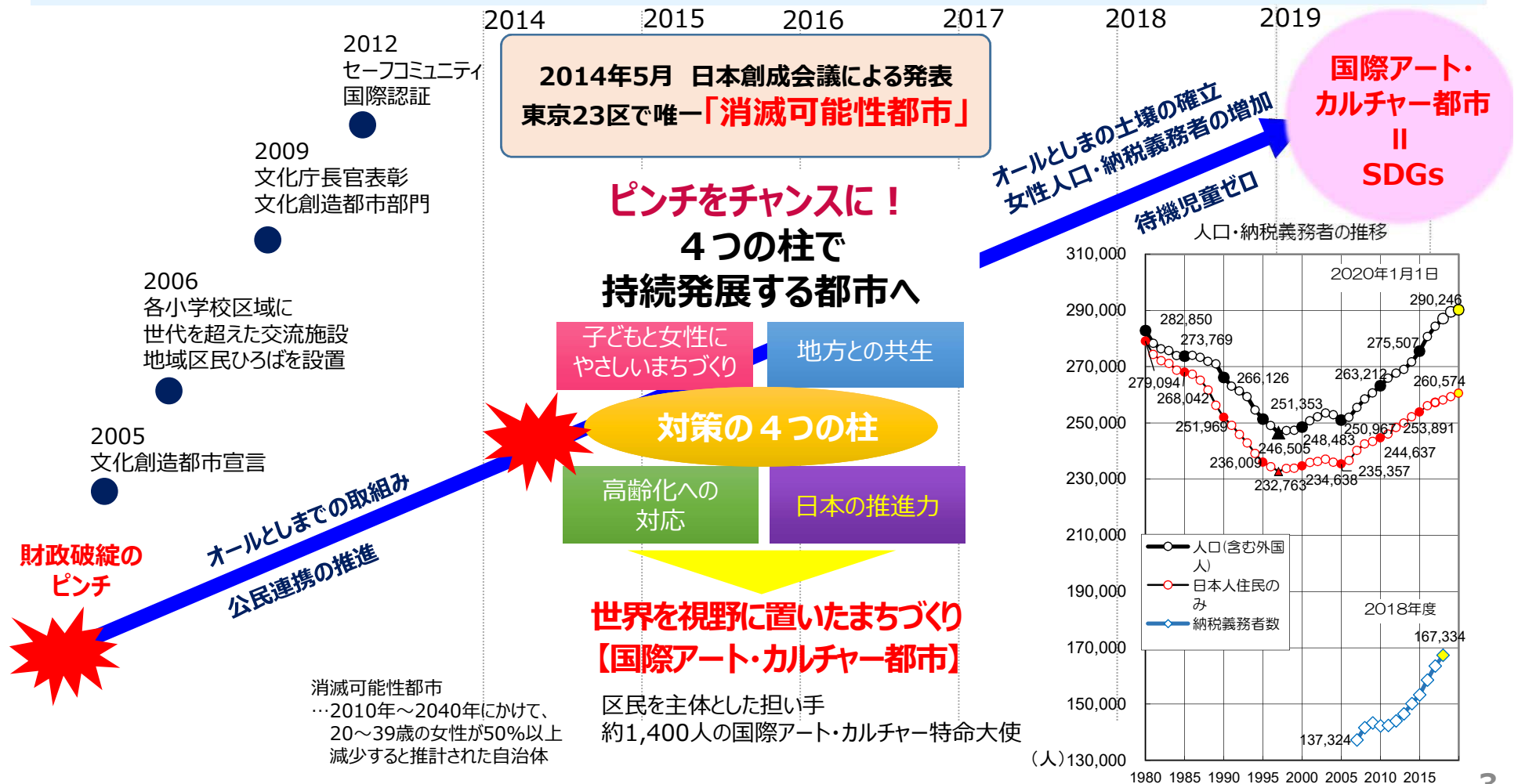
「SDGs未来都市」「自治体SDGsモデル事業」とは

- 「SDGs未来都市」
 - ・SDGsの達成に貢献する優れた自治体（今年度33自治体が選定）
- 「自治体SDGsモデル事業」
 - ・「SDGs未来都市」の中で、特に先導的な取組（今年度10自治体が選定）
- ダブル選定は、東京初の快挙



区政の歩み（消滅可能性都市から持続発展都市へ）

- 財政破綻のピンチから、文化によるまちづくり、セーフコミュニティなどの取組で立て直し
- そのような中、東京23区で唯一「消滅可能性都市」の指摘
- **これを契機とした「国際アート・カルチャー都市」づくりが、「SDGs」と同じ方向性**
2015年3月:国際アート・カルチャー都市構想策定 ⇒ 2015年9月:SDGs国連サミット採択



「SDGs未来都市・豊島区」の強み

■ 先進的な公民連携「稼げる自治体」

- ・限られた財政状況の中、公と民の知恵と力を結集し、様々な取組
（例）財政負担ゼロでの新庁舎建設。旧庁舎跡地は新たな文化にぎわいの拠点へ。

■ 先進的な公民連携「オールとしま」

- ・区民、企業、団体、学生など約1,400名の担い手「国際アート・カルチャー特命大使」

■ 東アジア文化都市をきっかけに、「オールとしま」の土壌を確固たるものに

さらに、

23のまちづくり記念事業により、「まち全体が舞台に」



**消滅可能性都市を脱却し、SDGsを通して、
「“まち全体が舞台の誰もが主役になれる” 国際アート・カルチャー都市」へ**

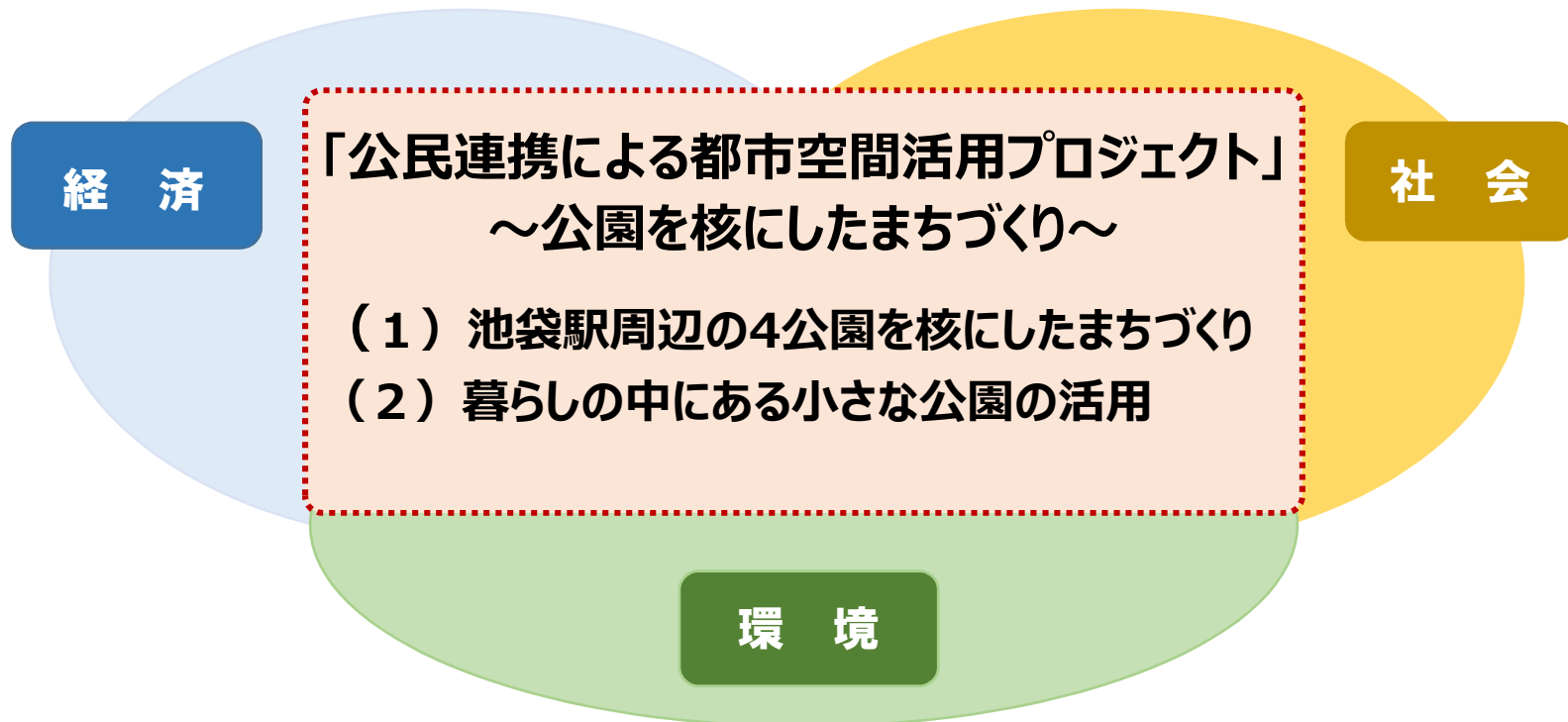
「自治体SDGsモデル事業」

- 教育・福祉・子育てなど、区の全施策は、SDGsの様々なゴールに寄与する。
- それぞれの施策をSDGsの視点から進めると共に、経済・社会・環境の3つの面を繋ぎ、相乗効果を生み出す取組が、SDGsの達成には重要



【既存の資源と強みを活かす】

- ・東アジア文化都市23のまちづくり事業の象徴「公園整備」と「IKEBUS」
- ・公民連携「オールとしま」



モデル事業のうち統合的取組「公民連携による都市空間活用プロジェクト」

池袋駅周辺の4公園を核にした、まちづくり

- 個性ある4つの公園の運営団体（エリアマネジメント組織）を連携させることで「新たな交流、表現、にぎわい」を創出 [社会・経済]
- 電気バスで各拠点を回遊、サポーター企業と共同イベント実施 [環境・社会・経済]



2019年9月 オープン
■ 中池袋公園
 マンガ・アニメの聖地。「Hareza池袋」内の公園。
● 公民連携の手法
 ・アニメイト等の周辺企業と連携しアニメコスプレイベント等を展開。開発者（東京建物、サンケイビル）がエリアマネ団体を組成し、施設使用料等を運営費へ。

2020年7月一部オープン
■ としまどりの防災公園（愛称：イケ・サンパーク）
 あらゆる防災機能を有する区内最大面積の公園。
● 公民連携の手法
 サンシャインシティと連携したイベント、民間カフェ運営、マルシェ運営等を実施する予定

2020年9月 オープン予定
★ としまキッズパークも同時オープン
 小さな子ども専用公園。インクルーシブの概念も取り入れ、誰もが一緒に遊べる公園へ。

真っ赤な電気バスが公園と人と未来をつなぐ！

- ・民間によるバス運営
- ・災害時は非常用電源としても活用
- ・自動運転も実験中

2019年11月 オープン
■ 池袋西口公園（愛称：グローバルリング）
 本格クラシック演奏などが可能な野外劇場。
● 公民連携の手法
 ・東京芸術劇場等と連携してイベントを展開。
 ・民間カフェ収益の一部等を公園運営費へ。

2016年4月オープン
■ 南池袋公園
 芝生が一面に広がる区民、来街者のオアシス
● 公民連携の手法
 ・南池袋公園をよくする会によるイベント等の実施。民間カフェ収益の一部等を運営費へ

※災害備蓄倉庫や1000台の地下駐輪場も併設



モデル事業のうち統合的取組 「公民連携による都市空間活用プロジェクト」

暮らしの中にある小さな公園の活用

- 地域住民と地域特性を活かした活用方法を検討・実践 [社会・環境]
- 企業と連携し、その強みを生かして、モデル公園を区内全域へ拡大 [社会・経済]



地域とともに。「ともに育つ公園」を区内全域へ

豊島区では園庭のない保育園が約8割
小さな公園は園児たちの遊びの場

■ 地域住民とともに活用方法を検討・実施

○○できない公園から○○できる公園へ



公園をみんなで育てよう
井戸端かいぎ



花壇づくりワークショップ



みんなで作る アートトイレ

■ 移動式ツールの活用



飲食販売兼本棚等を搭載したトラック

■ 企業との連携 (FFパートナーシップ協定)



池袋本店



Sunshine City



株式会社 良品計画



池袋 Shoppingパーク



自由学園明日館



日本気象協会

婦人之友社

東京第一友の会